



# 尚 綱

「<sup>にしき</sup>錦を<sup>ぎ</sup>衣て<sup>けい</sup>綱を<sup>くわ</sup>尚ふ」



尚綱大学短期大学部

総合生活学科

食物栄養学科

幼児教育学科

## 【建学の精神】

「智と徳を兼ね備え社会に貢献し得る女性の育成」

本学園は、明治21（1888）年に創設された済々黌附属女学校をその源としており、同校創設に際して創立者の佐々友房らが遺した「済々黌附属女学校創立ノ主旨」の中には、女子教育の必要性、女子教育の理念などについて縷々述べてあり、その中から建学の精神を表す箇所について要約したものです。

## 【教育理念】

「尚綱 表面を飾らず内面の充実に努める」

本学園は、校名である「尚綱」の二字に凝縮された言葉をもって教育の理念の姿とし、本学園の教育理念としています。「尚綱」とは、中国の古典『中庸』の一節、「衣錦尚綱」（錦を衣て綱を尚ふ）、すなわち、錦を着た場合はその上から薄物をかけ、きらびやかな模様を表に出さないようにするという君子の道のあり方を説いた句に由来しています。この句には、表面を飾らず内面の充実に努めるという、人としての心構え、あり方が含意されています。



## 会員の皆様へのご挨拶

尚綱大学短期大学部同窓会

会長 沼垣（中道） 邦子

熊本女子短期大学 家政科

昭和44年卒（第16回生）

同窓会会員の皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

私は同窓会会長になりました二年目を迎えることになりました。昨年は同窓会役員他会員の皆様の御協力により、活動を推進することが出来、感謝申し上げます。

昨今のデジタル化の進展や役員の高齢化等により、同窓会の活動にも変化がありました。

先ず、会誌「花さくら」の発送をこれまでクラス委員に集まってもらい、手作業で封筒詰めを行なっておりましたが、役員の高齢化や作業に集まる方の減少により、機械による袋詰めに変えました。クラス委員の皆様へは、「総会」や「ホームカミングデー」等で交流を図りたいと考えますので、ご参加のほどよろしくお願いいたします。

また、郵送料金の値上げもあり、各種行事の案内葉書は往復葉書でのご案内を止め、お誘いの往信葉書のみにしました。返信はスマホから二次元コード（QRコード）を読み取って（二次元コード対応出来ない場合は電話からも受付可）出欠のお知らせを頂くことにしました。さらに、住所や氏名変更届は尚綱短大部同窓会のホームページからも出来るようにしておりますので、ご活用のほどよろしくお願いいたします。

同窓会では、令和7年3月13日に卒業生の同窓会入会式を開催し、197名の皆様を新会員としてお迎えすることができ、大変嬉しく思います。

同窓会会員の総数は二万九千人近くになりました。

しかし、皆様もテレビ等のニュースでご存じのことと思いますが、尚綱大学短期大学の「総合生活学科（前身 家政科）」の学生募集が令和8年度から停止されました。

同窓会へも学校から説明がありました。その要因は、少子化や四年制大学への志向の高まり等から学生の確保が難しくなったためとのことでした。

「家政科」は、昭和27年に熊本女子短期大学（平成15年に尚綱大学短期大学部に改称）が開学された時に設置されました。それから今日まで74年間にわたり家政科や総合生活学科（平成15年に家政科から改組）を卒業した人は約一万人に昇ります。

時代の流れとは云え、後に続く後輩が途絶えることは非常に残念に思います。しかし、「食物栄養学科」と「幼児教育学科」は学生募集が継続されますので、是非お子さんやお孫さん等へ尚綱短期大学の良さをアピールして頂き、学生増へお力添え頂ければ幸いです。

令和7年度総会を令和7年6月6日にKKRホテル熊本で参加者約50人のもと開催し、令和6年度決算・事業報告、令和7年度予算案・事業計画案等の承認を頂きました。来賓に尚綱学園理事長秋岡廣宜様、尚綱大学・尚綱短期大学部長山縣ゆり子様、尚綱学園花桜会会長中尾桂子様をお迎えし、直接お話しが出来ましたことは喜びでした。

同窓会活動といたしましては、会誌「花さくら」の発行や一日研修旅行の開催、学校との協賛で開催しているホームカミングデイに60歳（還暦）を迎える方の集い等を開催しております。また、学生活動への支援も行なっております。

このような活動は、皆様から頂いた年会費と入学生からの同窓会入会金で行なっております。

しかし、同窓会の皆様からの年会費納入が減少しております。同窓会の活動を促進したいと考えますので、年会費の納入を何とぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



## ご挨拶

学校法人尚綱学園

理事長 秋岡 廣宣

尚綱大学短期大学部同窓会の皆様には、日頃より本学園に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。又、昨年6月に開催された同窓会の懇親会にお招きいただき、和やかな時間を過ごさせていただきました。重ねて御礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、流行語大賞にノミネートされた言葉「二季」に例えられるように日本から四季がなくなり、自然環境の激しい変動で農産物はもちろんですが、社会全般の営みに及ぼす悪影響が大きくクローズアップされた年だったように思います。そういう中で、世界では終わりの見えないうち中東や東欧の戦争、トランプ関税の経済問題など暗いニュースが多い年でしたが、一方、国内においては、経済環境の悪化や自然災害の増大と厳しい年ではありましたが、日本で初めての女性の総理大臣が誕生し、その活躍によって日本社会がより調和の取れた社会になるのではないかと期待をしています。

ところで、一昨年の日本の子供の出生者数は68万人余でし

たが、昨年は65万余となり、この流れは留まることがないようです。熊本県の出生者数も昭和24年の269万人をピークに年々減少しており、その潮流と共に短期大学の数は急激な減少を続けています。その要因は4年大学への移行が進んだことや奨学金制度の充実などにあるようですが、短期大学を取り巻く厳しい環境の改善をするために、昨年は改革のはじめとして学科の再編、広報課の新設などを行いました。これからは建学の精神を念頭に置き、短期大学と大学との協力関係をより密にして、学園の存続と発展のために様々な挑戦をしたいと思っています。皆様の更なるご理解とご協力を何卒宜しくお願い致します。

最後になりましたが、尚綱大学短期大学部同窓会の益々のご発展と、皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りいたします。





## ご挨拶

尚綱大学・尚綱大学短期大学部

学長 山縣 ゆり子

尚綱大学短期大学部同窓会会員の皆様には日頃より本学の教育・研究に格別のご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

令和7年度のホームカミングデイ(第10回)は、尚綱祭の開催が九品寺キャンパスでは7月に中高の文化祭と同一日に、武蔵ヶ丘キャンパスでは11月になったことに伴い、短大・大学同窓会のご協力のもと、それぞれ7月13日(日)と11月16日(日)に開催し、同窓会のご尽力のおかげで多くの卒業生にご参加いただき、盛会裏に終えることができましたことに深く感謝申し上げます。次年度もさらに多くの卒業生のご参加をお待ちしております。

また、令和7年4月の入学生から給付型の「二世代・三世代入学奨学金」制度を創設し、さつそく、お母様、お祖母様のいずれかが本学(短大・大学)の卒業生である新入生に奨学金を給付いたしました。今後も、お子様、お孫様のご入学を心よりお待ちしております。

さて、私が令和2年4月学長に就任し、短大同窓会誌「花さくら」の第31号から第35号までに「近年、18歳人口の減少や学生ニーズの多様化等の影響で、全国的に女子大や短大離れがみられ、本学も例外ではありません。」といった内容とそのような状況に対して、教職協働で選ばれる大学・短大にしたいと述べてまいりました。

しかしながら、総合生活学科の令和8年以降の学生募集を停止し、現在の在学生在が全員卒業後に学科は閉じることとなりました。ご存知のように、総合生活学科は、尚綱学園が初めての高等教育機関として昭和27年に創設した熊本女子短期大学家政科を引き継ぐ学科であり、同窓生の皆様は、大変寂しい思いをお持ちのことと申し訳なく思っております。なお、食物栄養学科と幼児教育学科の学生募集は継続します。現在、本学の教養教育実施部会では、同窓会のご要望も踏まえて、開学以来の家政科・総合生活学科の学問基盤となった家政学関連科目を教養教育科目として全学で学ぶことを検討しております。智と徳を兼ね備え地域社会に貢献できる人材を育成すべく、日本における生活文化に関する基礎的な知識と技術を身につけ、家庭生活からビジネスに至る広い範囲で活かすことができる力を引き続き育成したいと考えています。同窓会の皆様にご協力をお願いすることもありますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

引き続き、本学のホームページには、後輩たちの特色のある授業での学び、地域貢献や交流活動などの様子を掲載し、日々更新しておりますので、ぜひご覧いただき、先輩としてご意見、励ましをいただければ幸いです。

最後になりましたが、尚綱大学短期大学部同窓会の益々の発展と会員の皆様のご健勝・ご多幸をお祈り申し上げます。

# 総 会

コロナ禍で中止や縮小になっていた総会と懇親会を、令和7年6月6日、5年ぶりにKKRホテルで行うことができました。  
47名の参加で総会。沼垣会長挨拶後、山田慶さんを議長に選出。活動、

会計報告、  
役員紹介、  
活動計画  
案、予算案  
と承認され  
無事終了することができました。

その後、下川元会長より、今年度少子化の為に学生募集が停止される総合生活学科についての話があり、短大側から、「最初につくられた家政科の理念は、今後も他の科でも学生たちに伝えていく。」旨の話がありました。短大から一つの科がなくなるのは大変さみしいことです。

懇親会では、理事長、学長、花桜会会長を迎え、ロータスガーデンで50名の参加。ハンドフルト奏者高山大知さんの演奏。「なだそうそう」ラピタから「君を乗せて」等、やさしいハンドフルトの音色を聞きながら会食。楽しく和やかなひと時を過ごすことができました。最後に集合写真を取り盛会のうちに終了。皆様のご参加、ご協力ありがとうございました。

(矢島 美穂 記)



# 一日研修旅行

## 佐賀へ楽しい一日旅行

幼児教育科 昭和49年卒（5回生）

金澤 香代子

今年度の一日旅行は、9月27日に「旬のフルーツ食べ放題」と佐賀バルーンミュージアム」の熊本電鉄バスツアーに25名で参加しました。朝早い集合時間にもかかわらず、だれ一人遅刻せず、元気に出発しました。天気は曇天。雨の心配もありましたが、帰るまで傘の出番はありませんでした。まずは小城市の「清水の滝」へ。木々に囲まれ、幻想的な山道を登って行くと、高さ75メートル、幅13メートルの清水の滝が垂直に流れ落ちていました。見る方向で雰囲気も変り、マイナスイオンを浴びながら、



落ち着いた時間を過しました。バスに帰ると、予定になかった小城市の店に行くことに。今日一番の歓声が上りました。それぞれおいしい羊羹をゲットし、昼食会場へ。海鮮井など三つの井の定食をおいしくいただき、満腹になりました。フルーツ食べ放題は大丈夫かな？

次にメインの「佐賀バルーンミュージアム」へ行きました。秋に毎年開催される「インターナショナルバルーンフェスタ」は、ニュース等で見たことはありませんが、きれいだなー、気持ちいいだろうなーぐらいの感覚でバルーンについて考えたことはありませんでした。今回、どうして飛ぶの？操縦方法は？など展



▲ フルーツ食べ放題  
シャインマスカット、梨、おかわりして食べました。



示パネルやフライトシミュレーターなどの体験を通して少し知ることが出来ました。佐賀平野の上空をバルーン操縦体験は、難しくうまく行かなくても、仲間と一緒に考えながら楽しむ時間を過ぎてよかったです。

最後は、明太子工場で買い物をした後、中村果樹園へ。ぶどうと梨の食べ放題。普段の買い物では果物は少量しか買わないので、沢山食べるぞ！と意気込んでも、もう無理。おいしくても入る量は決まっています。

近くてもなかなか行かない佐賀への旅。あつという間の一日でした。全員けがや体調不良などもなく無事に帰ってこれて安心しました。43年間保育現場で働いてきたので、行事などが無事に終わることが一番嬉しいことでした。今回の旅行に関わってくださった皆様も同じ気持ちではないでしょうか。本当にお疲れさまでした。初めての参加でしたが、楽しく参加でき幸せな一日でした。ありがとうございました。



▲ バルーンミュージアム  
バルーン上昇し（類似）ポールを目標地点の28メートル近くに落下させる。

## 2025(R7) 年 同窓会活動報告

- 4月7日 定例会 入会式反省、会計報告、総会について
- 5月12日 定例会 総会、ホームカミングデイについて
- 6月2日 定例会 総会の準備と確認  
九品寺キャンパス、ホームカミングデイについて
- 6日(金) 総会(KKRホテル)
- 7月7日 定例会 総会の反省、ホームカミングデイ準備と確認  
一日研修旅行について
- 13日(日) 九品寺キャンパスホームカミングデイ
- 9月27日(金) 一日研修旅行 佐賀県清水の滝バルーンミュージアム他
- 10月6日 定例会 卒業記念品について、学生会支援金について  
武蔵ヶ丘キャンパスホームカミングデイについて
- 18日(土)
- 25日(土) ) 公開講座参加 テーマ 「38億年の命」  
－ 激動の時代を生きる －
- 11月1日(土)
- 10日 定例会 武蔵ヶ丘キャンパスホームカミングデイについて  
入会式について
- 16日(日) 武蔵ヶ丘キャンパスホームカミングデイ
- 12月1日 定例会 ホームカミングデイの反省
- 1月12日 定例会 年間行事、新年会、同窓会入会式について  
会計報告
- 2月2日 定例会 入会式について
- 3月2日 定例会 入会式、総会について

## 2026(R8) 年 活 動 計 画

- ◆ 毎月第一月曜日 定例会
- ◆ 総会 6月7日(日) 受付10時、開会10時30分  
九品寺学舎
- ◆ ホームカミングデイ 九品寺キャンパス …… 7月  
武蔵ヶ丘キャンパス …… 11月
- ◆ 1日研修旅行 …… 10月
- ◆ 卒業生同窓会入会式 …… 3月

総会、研修旅行、  
ホームカミングデイへの  
皆様のご参加とご連  
絡をお待ちしており  
ます！  
詳しくはホームペー  
ジをご覧ください。



## ホームカミングデー

九品寺キャンパス

「おかえりなさい 尚綱へ

## 第十回 ホームカミングデー」に参加して

家政科10回生 昭和38年卒業

下城 香

今回、初めて参加いたしました。

林田 俊一郎先生の講演「書に親しむ」は筆、硯、紙や書体のことなど、興味深く拝聴いたしました。

その後、尚綱学舎での昼食会は、美味しいお弁当をいただきながら同窓の方々の自己紹介などもうかがえて、同窓の温かさと、親しみを深くいたしました。

又、呈茶のお心遣いも嬉しく、ほっと致しました。

午後一時からのキャンパスツアーは、説明をいただきなが



▲ 令和7年7月 上海 杉達学院短期留学生の茶の湯体験



▲ 平成27年11月22日 尚綱学園祭茶会

ら、卒業以来、初めて教室を廻りました。

懐かしく、母校への思いを強く致しました。

在学生の生きいきとした姿は頼もしく、元気をいただきました。

私は、茶の湯の習いが好きで続けています。そのご縁で、平成二十年度から、尚綱大学日本伝統文化Ⅱの非常勤講師として、茶の湯の授業を担当しています。

平成二十五年、武蔵ヶ丘キャンパスに茶室を建設するというところで、尚綱学園の責任者の方からお話があり、建設会社からのお尋ねや、茶室見学、設計などの打ち合わせにも加わらせていただく事になりました。

平成二十六年三月、武蔵ヶ丘キャンパスの学生ホール館内に、

表千家の元にある茶室

松風楼しょうふうろうを写した茶室が

落成いたしました。ご関

係の方々へ薄茶を一服さ

しあげての茶室ちやしつひら抜きとなりました。

ました。

平成二十七年五月に

は、学生や、教職員の方々

からクラブ活動のお話し

があり、茶の湯同好会が

スタートいたしました。

授業や、茶の湯同好会

が恵まれた環境の中で出

来ることになりましたの

で「感謝の気持ちを込めて」

十一月に行なわれる尚綱

祭で、第一回尚綱学園祭

茶会を開催の運びとなり

ました。

この事は、茶の湯同好

会を立ちあげた学生の方々と、顧問の先生の強い希望と、真摯で見事なチームワークによって実現できたものです。嬉しく思っています。

この年から、台湾 慈濟<sup>じせい</sup>大学の短期語学留学生の、茶の湯体験も始まりました。

令和三年に、現代文化学部文化コミュニケーション学科が、九品寺キャンパスに移りましたので、前期授業と茶の湯同好会は、九品寺キャンパス七号館の一階茶室で行うことになりました。

幼児教育学科の集中講義は、武蔵ヶ丘キャンパスで行なっています。

本年（令和七年度）の上海 杉達学院<sup>さんだぐくいん</sup>の短期語学留学生の茶の湯体験は、武蔵ヶ丘キャンパスで行ないました。



▲ 令和7年7月 上海 杉達学院短期留学生の茶の湯体験

- 一、初めて日本の茶道に触れた体験は、とても印象的でした。
- 一、茶室に入るまでの一連のステップは、何かしらの心遣いや伝統が宿っているよう。
- 一、日本が古来の文化を大切に守り、なおかつ、季節や物語りを表現する繊細さを持ち続けている事に、深く感銘を受けた。

など、感想をうかがうと茶の湯の型に込められた「心の通わせ合い、人に礼をつくし大切にものをつかう」型に宿る心をお伝えできたようで嬉しく思います。

今回、ホームカミングデイに参加をして、キャッチフレーズの「お帰りなさい 尚綱へ」を身にしてみ感じました。そして心強く思いました。

尚綱学園、同窓会の役員の方々、同窓生の方々、お世話いただいた方々に心から御礼を申し上げます。

心に残る日となりました。ありがとうございました。

《令和七年度後期から、こども教育学部の茶の湯の授業が武蔵ヶ丘茶室で始まりました。》



▲ 九品寺キャンパス茶の湯同好会（現在）

ホームカミングデイはどなたでも参加できます。  
ぜひお友達を誘ってご参加ください。  
連絡をお待ちしています。

# 同窓生感想

九品寺キャンパス

「久しぶりに会って楽しい日々でした。」

《吉村(松尾) 恵利子》

「楽しい至福の時間でした。」

《岡本(赤城) 星子》

「本当に楽しく幸せな時を過ごさせていただきました。お世話いただいた役員の皆様、尚綱学園に感謝いたします。」

《下城 香》

「きょうは久しぶりに参加させて頂きありがとうございました。」

《山下郁子》

「今年は何じめて参加させていただきました。卒業して学舎で集い合う幸せを感じております。皆様方と和やかに語り合い楽しいひとときは、時の過ぎる事を忘れず。いつまでもこの会に参加したいと思えます。役員の皆様方に、感謝致しております。」

《下城 緑》

「なごやかに話しができて、楽しかったです。これからも、よろしく願います。」

《藤本輝美》

「久しぶりの母校でした。家政科がなくなりさみしくなります。」

《土山(緒方) 信子》



# ホームカミングデー

武蔵ヶ丘キャンパス

第十回、今年のホームカミングデーは七月に九品寺キャンパス、十一月に武蔵ヶ丘キャンパス、と別日程で開催されました。初の試みにより幼児教育科卒は九品寺へ、家政科と食物科卒は武蔵ヶ丘へ、と新たに参加することが出来、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

武蔵ヶ丘キャンパスでのホームカミングデーは十七回卒（昭和六十一年度卒）の還暦の方々をご招待しました。七名の参加の他に八回卒、十一回卒の方を各一名、十六回卒の方を二名、と計十一名の方が参加されました。

本校幼児教育科卒業生でもある牛島梨紗さんのフルートコンサートが開催され、子ども教育学部准教授の森みゆき先生によるピアノ伴奏と本校三年生の高宮夢乃さんの歌声の演出も加えられました。ピアノとフルートという柔らかな音色にうっとりとした聴き入れるとともに、終盤では動物絵本の歌の世界に引き込まれ楽しい時間を過ごすことが出来ました。私自身好きな曲ばかりでしたので深く感動しました。



キャンパスツアーでは大学の先生が案内され、卒業以来の校舎に「きれいになったね」、「変わってしまったね」、などの声も聞こえてきました。昼食を兼ねての交流会では感動や近況報告の場があり、互いに笑い合っている和やかな会を終えることが出来たと感じています。ご協力を頂きました大学の諸先生方、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。来年も多くの卒業生の皆様の参加のもと、盛大に開催されます事を願っております。

（小西 眞理子 記）



ホームカミングデーはどなたでも参加できます。  
ぜひお友達を誘ってご参加ください。  
連絡をお待ちしています。

# 同窓生感想

初めて参加させて頂きました。様変わりしたキャンパスに驚きと同時に羨ましくも感じました。先輩方のパワフルさに圧倒されつつ自分も頑張らなきゃなぞと思いました。ありがとうございました。

幼教17回卒 寺井明美 (米村)

去年に続き二度目の参加です。校内見学ではなつかしい学食やプール等と見る事ができとてもうれしく思いました。わきあいあいとした、アットホーみな雰囲気の中楽しく過ごす事ができました。役員の皆様準備 お世話になりました。

幼教17回卒 柏野まゆみ (坂本)

本日は還暦ということを知りて頂きありがとうございます。いつもは役員側(身振あり側)でした。今回は全て勝立って頂いて感謝です。又今年も同級生に呼びかけたいと思っております。久しぶりの同級生の集い、皆さんが元気にしています。

幼教17回卒 原田明美 (山本)

40年振りに学校に来る事が出来て本当に良かったです。お誘い頂きありがとうございます。なつかしい風景もありとても楽しく40年前に戻りました。お世話をして下さった皆さまありがとうございます。

幼教17回卒 村井郁子 (長田)

お疲れ様でした。計画から実施まで大変だったと思います。役員の方々がとても楽しそうにしていらしてそれだけでもステキだと思えました。今後も頑張ろう下さい。

幼児教育科11回卒 深草安世

40年ぶりに訪れた尚絅。なつかしさと、新しさと楽しく見学させて頂きました。フルーアの演ぞうもいやされました。ありがとうございました。

幼教17回卒 西村雪子 (中州)

秋の紅葉とまじり、40年ぶりの学園の花をふみ入れ、あの赤いカーブ(学生時代の)時間かよみかえくまよまじり、楽しい一時でした。本当にありがとうございました。

幼児教育8回生 赤林由衣子

久しぶりに、校舎を見学してありがとうございます。きれいになっていく様子に驚いていました。先輩方が今も生き生きとされているのをかいま見る事ができ、とても嬉しく楽しい時間でした。また来年も来よう。

幼教16回卒 山田多恵子 (野口)

心癒される演奏がはじまり、卒業して以来の校舎ツアー羨ましい程の様変わりへの環境に驚くばかりでした。懐かしい友と楽しい先輩方の語らいに有意義な時間を過ごしました。

幼教17回卒 三浦優々子 (野口)

素晴らしいフルートとピアノの演奏に心やされました。還暦の学友達との再会もとてもなつかしく楽しい時間になりました。皆様、人生の色々な話を聞け、まだまだ元気なこれから前向きに過ごしていきたいなぞと思えました。

幼教17回卒 坂本由美子 (坂上)

40年ぶりに帰ってきました。なつかしく思っています。人生のふし目に良い思い出が出来ました。ありがとうございました。

幼教17回卒 森千寿 (藤田)

## 同窓会入会式

### 〈九品寺キャンパス〉

令和7年3月13日 短大部同窓会への入会式を行いました。総合生活学科35名、食物栄養学科56名の、令和6年度卒業生の同窓会入会式を行いました。

沼垣会長の祝辞の後、卒業生代表からの答辞に続き、クラス代表者へ、同窓会クラス役員役割を記した委任状をお渡ししました。



卒業記念品として、袱紗の使い方  
の説明後、ピンク  
の袱紗と会誌を贈  
呈し、式を終えま  
した。  
(中原 福子 記)



### 〈武蔵ヶ丘キャンパス〉

令和7年3月13日午後1時より、幼児教育科106名の卒業生の短大同窓会入会式をとりおこないました。

学科長からのご挨拶、クラス役員  
の指名、同窓会からの記念品（袱紗）  
の贈呈式を行いました。

沼垣邦子同窓会会長は九品寺キャンパスでの入会式が同時開催となったため代読となりました。

式の準備は、事務の皆さんにお手伝いいただき、無事入会式を終えることができました。

これから同窓会の仲間として、皆様とともに同窓会活動を通じて母校の発展に尽くしていければと願っています。  
(土屋 薫 記)



# 寄稿

## 実現できた還暦旅行

食物科昭和61年卒（17回生）

鈴木（坂本） 勝代

2024年は短大を卒業して、40年。短大の時に知り合った仲間7人、定期的に行う食事は今もずっと続けていきます。集まれば、それぞれの近況報



▲ 有馬温泉  
朱色の「ねね橋」の上で！  
近くには豊臣秀吉の正室ねね像もあります。

告はもちろんのこと、必ず話題に出るのは短大時代の様々なエピソード。一気に学生の頃にタイムスリップです。

わずか2年という短い学生生活でしたが『そこで得た友人は宝物だね！』と、歳をとるごとにみんなで再確認しています。

そんな私たちも、還暦を迎える節目として、念願だった還暦旅行を実現することができました。場所は兵庫県の有馬温泉。紅葉が色づく11月中旬、熊本から5名、関東から2名、ほぼ中心に位置する場所を候補に選びました。会った瞬間から笑いが絶えず学生の頃に帰った気分の還暦旅行。ゆったり温泉で身体を癒し、美味しい食事で心を満たし、何よりお部屋で遅くまでお喋

りできたことは一生の思い出になりました。そして、これからは食事だけでなく、定期的に旅行をしよう！と決めました。約1年に1回しか会えないけれど、何の違和感もなく寛げる仲間は、かけがえのない存在です。そのことをあらためて実感した2日間となりました。



▲ 生田神社（神戸）  
縁結びの神様、私達の縁もず〜と続きますように！

同窓会から助成金（1万円）  
参加者8名以上の集まりには同窓会から助成いたします。  
日時と場所、感想をそえて写真もお願いします。  
事務局までご連絡下さい。

# クラス会を終えて

食物科昭和44年卒（1回生）

茂田 八千代

令和七年四月十五日に熊本市内に於いてクラス会が行なわれた。昭和四十四年の卒業から現在まで、年祝をかねて幾度も行なって来た。

熊本で三々四回、東京で一回、京都で一回、それぞれの場所で有志の方々からお世話をいただいた。毎回楽しい会となった。

学生時代お世話になった先生方も御存命の先生方もおられお会いすることはできなかったが近況は伺うことができた。

今回のクラス会へも、関東・関西・九州各地より参加いただいた、美味しい食事を頂きながら、それぞれの人生や経験を聞きながら、皆の色々な人生を歩いて来たのだと、思えました。

今元気に過ごしている自分達に今後

も「幸あれ」と願うばかりでした。

私共も七十七才、喜寿を迎え遠距離の移動を一人で出かけることはおぼつかなくなってきたが、それでも学友とは逢いたい気持は大いにあります。

今回が全体でのクラス会は最後になりましたが、近隣に住む友との楽しい会は続けて行きたいものです。

人は繋がって会話をすることは大事なことと思っています。趣味や旅行、ボランティアなど楽しみながら人生を謳歌したいものです。

最後に同窓会より資金援助いただきました御礼を申し上げます。同窓会の益々の発展を願っております。



▲熊本女子短期大学 食物栄養専攻 一回生クラス会  
2025年4月15日 仲むらにて



# 短大だより

尚綱大学・尚綱大学短期大学部における令和7年の主な活動状況についてご紹介いたします。

学生たちは、学修や課外活動に意欲的に取り組み、キャンパスには日々、活気と笑顔があふれています。今年は多様なイベントや行事も盛んに行われ、学びと交流の場として、より一層の広がりを見せています。

尚綱大学短期大学部同窓会の皆様におかれましては、引き続き学生及び教職員への温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ●令和6年度尚綱大学・

### 尚綱大学短期大学部卒業式

令和7年3月14日（金）、尚綱大学・尚綱大学短期大学部卒業式が熊本県立劇場演劇ホールにて挙行されました。保護者の方々の列席もいただき、卒業生の門出を祝福することができました。大学生142名、短期大学部学生197名、合計339名が卒業し、大きな夢と希望を抱いて本学園を巣立っていきました。

卒業生の皆さんの今後の活躍に期待しております。

## ●令和7年度尚綱大学・ 尚綱大学短期大学部入学式

令和7年4月7日（月）、令和7年度尚綱大学・尚綱大学短期大学部入学式を尚綱アリーナにて挙行されました。真新しいスーツに身を包んだ大学生162名（編入生18名含む）、短期大学部生129名の合計291名の新入生と保護者の方々から入学の祝福を受け、新入生は新たなスタートを切りました。

## ●尚綱大学・尚綱大学短期大学部 オープンキャンパス

令和7年4月19日（土）、5月17日（土）、6月7日（土）、7月12日（土）、8月9日（土）、8月24日（日）の6日間にわたり、両キャンパスでオープンキャンパスを開催しました。参加した高校生や保護者の方に対し、学部・学科の特色紹介や模擬授業を通して本学で学ぶ魅力を伝えました。また、来場した高校生の希望者に対して、個別相談やキャンパスツアーを行いました。7月12日（土）は、尚綱祭と同日に開催し、オープンキャンパスが終わった後も模擬店や各種イベントなどへの参加を呼び掛け、高校生にキャンパスライフを直接体験してもらおう良い機会となりました。

## ●尚綱公開講座

令和7年10月18日（土）、25日（土）、11月1日（土）の3日間にわたり、尚綱公開講座を実施しました。「38億年の命く激動の時代を生きるく」をテーマに、地球上の生命の歴史から現代社会を見つめ直すという思いを込め、食・教育・人間関係・AI・歴史など、私たちの暮らしに深く関わる全9講座を開講しました。卒業生や地域住民の方に広く受講していただき、大変好評でした。

## ●令和7年度尚綱祭

令和7年7月12日（土）、13日（日）、九品寺キャンパスにて「爽涼祭」をテーマに尚綱祭を開催しました。例年は11月に開催しておりましたが、今年は初めての夏開催となり、オープンキャンパスや尚綱中学・高等学校の文化祭とも同日開催となりました。1日目は模擬店のほか、かき氷早食い大会や浴衣美人コンテストなど、夏ならではのイベントを実施しました。2日目は軽音楽部・ダンスサークルによるステージ発表に加え、お笑い芸人「ママタルト」のライブも行われ、大いに盛り上がった2日間でした。

## ●第10回ホームカミングデー

令和7年7月13日（日）、九品寺キャンパスにてホームカミングデーを開催しました。今年は、特別講演として林田俊一郎氏（尚綱大学名誉教

授)をお迎えし、「書を楽しむ」をテーマに書道に関するご講演をいただきました。書くことの楽しさや文字を通して心を表現する喜び、書の種類、墨・硯といった用具についてもお話しいただきました。



卒業式



入学式



オープンキャンパス



尚綱祭(九品寺)



ホームカミングデー

## 学生会から

### 学生会の活動を通して感じたこと

九品寺キャンパス学生会会長 岩元 美玲

「また来年も学生会に入りたいと思いました。」この言葉は私が今年度学生会会長を務めさせていただく中で、最も嬉しいと感じた言葉です。

今年度の学生会は四月に結成したのち、七月開催の学園祭に向けて急ピッチで団結する必要がありました。それは例年とは異なる「初の夏季開催」、「初のオープンキャンパス同日開催」、「初の中高文化祭同日開催」という条件の下で活動が求められたからです。その異例な条件下で私が一番意識したことは学生一人一人の意見を聴くということでした。なぜそれを意識しようと思ったかということ、少人数で進めるのであれば組織である必要がないからです。学生会は四学部四学年が一つの組織に存在し、合計人数は六〇人を超えません。そのため今までは意見交換の時間がとれておらず、上下関係や学部の壁を気にして発言しにくい雰囲気がありました。しかし、学生の意見を聴かないのであれば、また、ただ指示を出してそれに従わせるだけであれば「学生会」という名は不適切であるように感じます。そこで私は学生会役員が活動に対してどのような考えを持っているかを知るために月一回以上のミーティングとその最後にコメントシートを記名自由として役員全員に書いてもらうことにしました。その中には前向きな感想や質問、カリキュラムの違いで主体的な活動が困難である学部からの意見などさまざまなものがありました。もちろん、すべての意見に目を通しましたが、それらすべてを取り入れることは難しく、それを不満に思った学生会役員もいたと思います。しかし、

まずは意見交換の機会を設けることができたこと、そしてこの取り組みによってヨコのつながりを強めることができたことは成功だと感じています。また、このほかにも、ミーティングの際に間をおいて「わからないことがあったら訊いてね」「どう思う?」など、フランクなやり取りを全体で行うことで発言をしてもいい雰囲気づくりに努め、意見交換の時間を確保することができました。

今年度の学生会の運営は組織のトップに立つ経験がなかった私にとって強いプレッシャーを感じるものでありましたが、その反面でこれを成功させたらすごいぞ!というやる気を漲らせるものでした。四月に各クラスの学生会の役員が決定し、七月の学園祭当日を迎えるまでにはこちらに記しきれないほど沢山の経験をさせていただくことになり、今でもふとした瞬間にある選択は悪かったかもしれない、間違っていたかもしれない、と落ち込むことがあります。しかし、そのたびに学園祭二日目の反省会で、「大変だなと思うこともあったけど楽しかったの、また来年も学生会に入りたいと思いました。」と、言ってくれた学生会役員の言葉を思い出し、良かった点を思い浮かべて報われた気持ちになります。また、それと同時に、学生が自主的に来年度も学生会の活動に参加したいと思ってくれたことに対してとても嬉しい喜びを感じます。

今年度の学生会運営に関しましてご協力いただきました学生会役員や、先生方、学生支援課の方々には感謝の念が尽きません。また、短大同窓会からは支援金をいただきありがとうございます。

来年度も、再来年度もその先も学生会の活動に意欲のある学生が増え続けることを願っています。

## 「学生会役員として」

武蔵ヶ丘キャンパス学生会会長 松岡 紗那

私は1年次の頃から学生会役員として活動してきました。その中で、前会長を始めとする先輩方の姿をたくさん見てきて、2年次でも学生会に入りたいと思い、せっかく学生会役員をするのであれば会長になり、全体を見る立場として活動していきたいと思い、会長選挙に立候補しました。

私が会長選挙に立候補するきっかけとなったのは、ある人が言ってくれた言葉でした。それは「さなちゃんが生徒会長の経験をするなら来年も学生会やろうかな」という言葉でした。これを聞いてとてもうれしく、この言葉をきっかけに会長をやりたいなと思うようになりました。また、会長に立候補しようと考えていることを色々な人に相談していく中で、みんなが「絶対やりなよ」や「さなちゃんしかできないよ」「さなちゃんが会長ならついでいくよ」とたくさん励みの言葉をいただきました。ですが、立候補に至るまでたくさん悩みました。その時、前会長から直々に声をかけてくださり、私は覚悟を決め会長選挙に立候補することを決めました。

私にとって学生会とは、短大生活の中でとても大きな存在であり、活動を通してたくさんの学びを得ることができました。人前に出ることの楽しさや難しさ、また先輩や他のクラス、こども教育学部の人たちと関わることの楽しさを知ることができました。

学生会会長の経験を通して、周りを導きながらみんなが安心して動ける環境をつくるリーダーシップ力や各役員の相談事、尚綱祭での各部署へのフォローなど人を支える姿勢、共感力を身につけることができました。この経験は、保育者として子どもが安心して活動できる環境づくりや子どもへの気持ち、保護者の不安に寄り添う力、チームで働く力に活きると思っています。

たくさんの方に迷惑や負担をかけながら行事の運営や企画をやってきました。準備をしていく中

でたくさんトラブルが起き、自分の情けなさに自己嫌悪を感じながらどうしたら良いのか悩む日々を過ごしていました。ですが、同じ学生会役員の人たちや先生方に支えられながら今まで活動を続けることができ、本当に感謝しています。最後になりますが、全くもって頼りない学生会長だったのにもかかわらず、ついてきてくださった学生会役員や先生方みなさんに厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

また、短大同窓会からは支援金をいただきありがとうございました。

## 学外実習から

### こども園での校外実習を終えて

食物栄養学科 二年

中島 愛梨  
黒瀬 水紀

令和七年六月九日から六月十三日までの五日間、くほんじこども園で実習を行いました。五日間という短い期間でしたが、こども園で働く栄養士の仕事を体験し、多くの学びを得ることができました。

実習の中で特に印象に残っていることは、年長児に向けて「正しいおやつ選び方」についての栄養指導を行ったことです。現代では、砂糖が多く使用される一方でカルシウムやビタミンなどの栄養素がほとんど含まれないおやつがたくさんあります。その中で成長期の子どものには、砂糖の過剰摂取を避けるとともに、おやつからもこれらの栄養素を摂取してほしいという思いからこの栄養指導を行うことになりました。栄養指導の際には、子どもたちに分かりやすく伝えるためにペーパーサート(子どもを対象とした紙人形による寸劇)

を作成し、物語を交えながら話す工夫をしました。大学の授業でもボスターなどを頂いた栄養指導を経験していたため、ペーパーサートの準備もスムーズに進めることができ、日頃の学修成果を今回の実習にも活かすことができたと思います。準備万端とはいえ、子どもたちの前で発表するのはそれなりに緊張しましたが、こども園での実習ならではの有意義な体験となりました。

上述の年長児に向けての「正しいおやつ選び方」をテーマとした栄養指導のみならず、今回の実習を通して多くの重要な学びや貴重な経験をすることができました。例えば、給食やおやつ提供の場面では、園児とのコミュニケーションを通して食事の楽しさや大切さを伝えることができました。園児一人ひとりの反応を見ながら声をかけることで、彼ら彼女らが安心して食事を楽しめる雰囲気づくりの重要性を学びました。また、調理室での手作りおやつ作業に参加することで、現場でのお菓子を一から作る工程を実際に経験しました。市販のお菓子とはまた違った手作りのおやつならではの温もりはもちろん、うっかりすると見過ごしてしまいがちな栄養士の先生方の細やかな工夫も学ぶことができました。梅干し作りの食育活動にも参加したのですが、年長児と一緒に梅干しのヘタ取りの作業を行った際に「ヘタが取れたよ」と笑顔で教えてくれる子どもたちの姿が印象的でした。園児から質問を受けることで、自分自身が「先生」として頼られる存在であることに改めて気がつくとともに、喜びと責任を併せて感じました。実習前でも頭ではわかっていたつもりになつていたことでしたが、実習で体験することで子どもたちの健やかな成長を支える栄養士の役割の大きさを改めて実感しました。こども園で働く栄養士は食事を提供する業務だけではなく、園児一人ひとりの食事の様子を観察し、成長に合わせた支援や食育活動を行うなど、幅広い面で子どもたちの健康を支えているのです。

今回の保育所実習では、机上では学ぶことができない貴重な体験を通して、多くの気づきと学びを得ることができました。特に、栄養士は栄養管理、衛生管理や食育活動などを通して人々の健康を支える重要な役割を担っている職業であることを深く認識できました。この経験を今後の学びに活かす、社会に出た後も栄養士としてさらに成長できるように努力していく決意を新たにしました。

## インターンシップに参加して

総合生活学科一年 中畠瑚々乃

私は今年の夏季休暇中にマリエール神水苑様のインターンシップに参加しました。マリエール様は、緑豊かな庭園と上品な雰囲気特徴の結婚式場で、挙式から披露宴・衣装・レストラン業務までを一貫して行い、新郎新婦の一生に一度の結婚式をサポートする会社です。インターンシップでは、ウェディングプランナー・パンケット・衣装・レストランの4つの部署を体験し、会社の業務内容全般について学ばせていただきました。各部署の仕事内容やスタッフの動きを間近で見ることが、結婚式が多くの人々の支えによって成り立っていることを実感しました。

これまで私は結婚式に参列したことがなかったため、ブライダル現場に足を踏み入れるのは今回が初めての経験でした。まずは、雰囲気慣れることがインターンシップの目標でしたが、実際、5日間、日に日に仕事内容が違うので、短時間で仕事内容を覚えることで一杯でした。パンケットでは新郎新婦の結婚式のリハーサルの手伝いをさせていただきましたし、披露宴を円滑に進めるためにスタッフ同士が声を掛け合いながら働く様子も拝見しました。衣装では、お客様にお茶出しをさせていただく傍らで、実際にドレスを試着させていただく機会もありました。レストランでは初めて接客を経験し、お客様に気持ちよく食事をしていただくための細やかな気配りの大切さを知りました。丁寧な言葉遣いに苦戦する場面もありましたが、各部署の皆様が優しくご指導してくださったおかげで少しずつ自信が持てるようになり、初期の目標は達成することができたと思っています。

インターンシップに参加する前は、将来、ウェディングプランナーとドレスコーディネーターのどちらの職業に進むか迷っていました。しかし、実際にウェディングプランナーの方が新郎新婦の想いを丁寧に聞き取り、理想の結婚式を形にしていける姿に感動しました。新郎新婦の理想の形に結婚式と披露宴を創る過程や、感謝の言葉をいただける瞬間を間近で見、幸せな瞬間を一番近くで見届けられることに強く魅力を感じました。お客様の人生で幸せな日を共に創る仕事は、とてもやりがいがあり、自分にとっては理想の職業だと思えることができました。

今回のインターンシップを通して、業務内容だけでなく、適切な言葉遣いや丁寧なコミュニケーションの重要性、そしてチームで支え合うことの大切さも学ぶことができました。それだけでなく、新郎新婦の笑顔や、感動で涙を流すご家族の姿に心を打たれ、結婚式という特別な一日が沢山のスタッフの支えによって成り立っていることも実感しました。華やかな表舞台の裏でスタッフ一人一人が責任を持って働き、限られた時間の中で最高の一日を創り上げていることを知り、ブライダルの仕事の奥深さを学びました。

インターンシップで得た経験と感動を胸に、これからも自分の夢に向かって成長していきたいと思っております。今後は、社会人としての必要なマナーや接客力を身につけ、誰かの幸せに寄り添えるウェディングプランナーを目指して努力して参ります。

## 保育の面白さ

幼児教育学科 二年 西村 実咲

令和七年六月九日から六月十三日までの五日間、この二年間の実習を通して、子どもとの向き合い方を深く学ぶことができました。初めての尚絅大学附属こども園実習では、環境構成の意図や保育者の細やかな配慮に驚きました。絵本の読み聞かせや手遊びの際には、本の角度や声の強弱、表情一つで子どもの反応が変わることを実感し、保育者の工夫次第で子どもがより楽しめる時間になることを学びました。また、子どもの行動を表面だけで判断せず、そ

の過程や心情を理解しようとする姿勢の大切さにも気づきました。一方で、子どもとの関わり方や記録の書き方など分からないことも多く、自分は保育者に向いていないのではないかと感じることもありました。しかし、その不安は実習を重ねる中で少しずつ変化していききました。保育者の緊張や迷いは子どもにそのまま伝わることに気づき、自信をもち楽しんで関わることの重要性を学びました。担任の保育者や園の先生方が真摯に向き合ってくださったおかげで、自分の保育に少しずつ自信を持てるようになりました。記録を書くことで翌日の関わりに活かすことができ、記録として積み重なっていくことで達成感にも繋がりました。二年次には保育教材の活用にも挑戦し、子どもの興味を引き出す言葉かけや関わり方を学ぶことができました。

実習の中で特に印象に残っているのは研究保育です。一から遊びの展開を考え、保育を計画する過程は難しさもありましたが、多くの学びを得ることができました。最後の実習で行ったどんぐり剣玉づくりでは、説明不足や時間配分の課題がありました。「楽しかった！」と笑顔で話してくれた子どもの姿が何より嬉しかったです。自分の保育が子どもの楽しい時間につながったことを実感し、保育者は子どもと喜びや悩み、楽しさを共有できる存在であると改めて感じました。また、つくった剣玉を保護者に嬉しそうに見せている姿を見て、園での活動が子どもと保護者を繋ぐ大切なきっかけになることにも気づきました。私自身、視野が狭くなることがあるため、周囲の様子をしっかりと捉えながら保育していきたいと感じました。

これまでの実習を通して、上手いかななかったことや楽しかったことが全部が私の糧になっていると思います。実習で出会った尊敬する先生方を目標に、自分なりの保育をしていきたいです。実際の保育現場ではさらに困難なことがあると思いますが、二年間の実習で得た保育の喜び、悩み、楽しさを忘れずに子どもたちと一緒に成長していきたいと思えます。



総合生活学科		
<p><b>【情報通信業】</b> 中央出版ホールディング株式会社</p> <p><b>【卸売・小売業】</b> iHD ジャパン株式会社 株式会社 IDOM 株式会社白石 株式会社ゾフ 株式会社ネクステージ 株式会社フジデン クリナップ株式会社 ネットトヨタ熊本株式会社 ハイコムモバイル株式会社 有限会社桑原モータース</p>	<p><b>【不動産業、物品賃貸業】</b> 株式会社明和不動産</p> <p><b>【宿泊業、飲食サービス業】</b> アパホテル株式会社 日本レストランシステムズ株式会社 (星野珈琲店)</p> <p><b>【教育、学習支援業】</b> 学校法人尚綱学園</p> <p><b>【医療、福祉】</b> 医療法人社団徳治会 社会福祉法人宥明会 もくせい学園 東部熊本歯科</p>	<p><b>【複合サービス事業】</b> 日本郵便株式会社</p> <p><b>【サービス業（他に分類されないもの）】</b> 株式会社アズスタッフ 株式会社マーキュリー 日研トータルソーシング株式会社 日本ステリ株式会社 株式会社肥後メディカルズ</p>
食物栄養学科		
<p><b>【卸売・小売業】</b> 株式会社尚綱サポートセンター 株式会社ハウディ 株式会社ミルク</p> <p><b>【生活関連サービス業、娯楽業】</b> エー・エイチ・シー株式会社</p> <p><b>【教育、学習支援業】</b> 社会福祉法人佐土原福祉会 認定こども園 エンゼル保育園 社会福祉法人佐土原福祉会 幼保連携型認定こども園 えのみこども園 社会福祉法人三澄会 幼保連携型認定こども園 くほんじこども園 社会福祉法人日向福祉会 幼保連携型認定こども園ひむきこどもえん 社会福祉法人向真会 幼保連携型認定こども園 千草保育園 社会福祉法人芳野福祉会 やまばとこども園 社会福祉法人よつば福祉会 よつば保育園</p>	<p><b>【医療、福祉】</b> 医療法人回生会 リハビリテーションセンター 熊本回生会病院 医療法人再生会 くまもと心療病院 医療法人社団育成会 北熊本井上産婦人科医院 医療法人社団鶴友会 鶴田病院 医療法人社団藤浪会 整形外科井上病院 医療法人城南ヘルスケアグループ 医療法人杉村会 杉村病院 医療法人松生会 松田病院 株式会社コドモノイルクラシ 社会福祉法人郁栄会 特別養護老人ホーム サンビレッジ高平台 社会福祉法人櫻心会 おひさまりりー保育園 社会福祉法人たから福祉会 たから保育園 社会福祉法人沼山津福祉会 光輪保育園 社会福祉法人光進会 第二よこび保育園 社会福祉法人福芳会 光の森武蔵ヶ丘保育園 社会福祉法人福芳会 阿蘇こうのとり保育園</p>	<p>社会福祉法人緑翠会 走瀧保育園 社会福祉法人山北保育園 社団藤浪会 整形外科井上病院 特定医療法人佐藤会 弓削病院 特定医療法人社団ピネル会 ピネル記念病院</p> <p><b>【サービス業（他に分類されないもの）】</b> エームサービス株式会社 学校法人中村学園 中村学園事業部 株式会社 LEOC 淀川食品株式会社</p>

幼児教育学科

【教育、学習支援業】	【医療、福祉】	
学校法人愛和学苑 幼保連携型認定こども園 亀の子幼稚園	阿蘇市役所 山田保育園	社会福祉法人水前寺福祉会 水前寺保育園
学校法人吉良学園 幼保連携型認定こども園 白川幼稚園	一般社団法人創社会 ニコ保育園	社会福祉法人世和会 梶尾保育園
学校法人桐原学園 小国幼稚園	学校法人九州総合学院九州工科自動車専門学校	社会福祉法人地の潮福祉会 こひつじ保育園
学校法人熊本音楽学園 武蔵ヶ丘幼稚園	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター	社会福祉法人月出福祉会 月出保育園
学校法人尚綱学園 尚綱大学附属こども園	二の丸保育園	社会福祉法人つくし福祉会 つくし保育園
学校法人第一学園 第一幼稚園	学校法人第一学園 杉並台保育園	社会福祉法人天水若竹会 玉水保育園
学校法人中九州第二学園 認定こども園 帯山幼稚園	株式会社ACE 北部インターナショナル保育園	社会福祉法人同朋会 淳光育児園
学校法人中九州第二学園 認定こども園 わかさ幼稚園	株式会社ニチイ学館 ニチイキッズ	社会福祉法人豊川福祉会 豊川保育園
学校法人花陵学園 花陵幼稚園	株式会社ニチイ学館 ニチイキッズ	社会福祉法人どろんこ会 池上どろんこ保育園
学校法人北部学園 ほくぶ幼稚園	かしま西保育園	社会福祉法人向日葵会 南部保育園
学校法人みゆき学園 幼保連携型認定こども園 恵水幼稚園	熊本市役所 京塚保育園	社会福祉法人日吉福祉会 日吉保育園
学校法人裕生学園 成華幼稚園	社会医療法人芳和会 菊陽ぼっぼ保育園	社会福祉法人福芳会 福本保育園
社会福祉法人江津福祉会 なぎさこども園	社会福祉法人 愛育学園	社会福祉法人不二学園 こうしおながく保育園
社会福祉法人上ノ郷福祉会 なないろこども園	社会福祉法人愛隣園	社会福祉法人文政福祉会 文政保育園
社会福祉法人敬人会	愛隣館児童通所支援事業所スーパームーン	社会福祉法人歩真会 あゆみ保育園
幼保連携型認定こども園 わらべ	社会福祉法人愛誠会	社会福祉法人まつの木会 多機能型事業所 まつの木作業所
社会福祉法人桜ヶ丘福祉会	特別養護老人ホーム小島苑	社会福祉法人まどか会 宮地保育園
幼保連携型認定こども園 桜ヶ丘こども園	社会福祉法人あけぼの福祉会 あけぼの保育園	社会福祉法人南風福祉会 西合志南保育園
社会福祉法人三澄会 幼保連携型認定こども園	社会福祉法人 旭保育園	社会福祉法人三幸 合志たけのこ保育園
くぼんじこども園	社会福祉法人有明中央福祉会	社会福祉法人みわの会 春日町第三保育園
社会福祉法人しみず福祉会	南関こどもの丘保育園	社会福祉法人明徳会 チャレッジめいとくの里
幼保連携型認定こども園 まんごく保育園	社会福祉法人恵寿会 認定こども園 みどりの里	社会福祉法人八千杷福祉会 八千杷こども園
社会福祉法人すみれ福祉会 カトリア保育園	社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	南阿蘇村役場 はくすい保育園
社会福祉法人西部福祉会 かおるこども園	院内保育園 はあとランド	南阿蘇村役場 ちょうよう保育園
社会福祉法人高砂福祉会 幼保連携型認定こども園	社会福祉法人佳徳会 かえでの森こども園	
たかさご SCHOOL セントラル	社会福祉法人加茂川保育園 岩保育園	
社会福祉法人まどか会 古城保育園	社会福祉法人菊池ひかり保育園	
社会福祉法人モロナイ会 寺原保育園	社会福祉法人くすの実福祉会	
社会福祉法人山清福祉会 五丁こども園	企業主導型保育施設 こすもす保育園	
社会福祉法人山清福祉会	社会福祉法人敬愛福祉会 敬愛保育園	
幼保連携型認定こども園 やまなみ	社会福祉法人合志市社会福祉協議会	
社会福祉法人芳野福祉会 やまぼとこども園	このみ坂保育園	
	社会福祉法人こころ 保育園こころ	
	社会福祉法人 木葉昭和児童園	
	社会福祉法人七城園 山鹿東保育園	
	社会福祉法人清水会 きらら保育園	
	社会福祉法人純心会 空港保育園	
	社会福祉法人純心会 第二空港保育園	
	社会福祉法人白川園 白川保育園	
	社会福祉法人白百合福祉会 白百合保育園	
	社会福祉法人翠杉会 杉の実保育園	

# 尚綱大学短期大学部 同窓会規約

## 第一章 名称及び事務所

第一条 本会は尚綱大学短期大学部同窓会と称する。

第二条 本会は事務所を熊本市中央区九品寺二丁目六番七十八号尚綱学園内に置く。

## 第二章 目的及び事業

第三条 本会は会員相互の親睦を深めると共に母校の発展の為につくすことを以て目的とする。

第四条 本会は前条の目的を達するために左記の事業を行う。

- 一、会誌の発行
- 二、講演会・研修会の開催
- 三、その他必要と認める事業

## 第三章 会員

第五条 一、正会員 熊本女子短期大学及び尚綱短期大学、尚綱大学短期大学部を卒業した者。

但し、当大学に一年以上在学し、且つ、役員会の承認を得た者。

二、準会員 尚綱大学短期大学部在學生で、短期大学部同窓会費を納付した者。

## 第四章 役員

第六条 本会は左記の役員を置く。

一、役員

会長 一名

副会長 計三名

科長 計三、四名

書記 計二名

会計 計三名

事務 計三、四名

編集及びホームページ 六名

文化 二名

会計監査（前会長） 一名

顧問（元会長） 一名

名誉会長（元会長） 一名

二、学年役員

卒業年次ごとに各クラスに一名置く。

三、会計監査

会員の中から会長が委嘱した者。

会長は総ての会合を主宰し本会を代表する。

副会長は会長を補佐し、会長に事故有る時はその代理をする。

科長は科を代表する。

書記は議事の収録を行う。

会計は会計事務を司る。

事務は庶務に従事する。

編集は会誌その他の編集とホームページの管理を行う。

第十四条 文化は作品展示会を運営する。

第十五条 科委員は科長の依頼事項を行う。

第十六条 監査は本部会計の監査を行う。

第十七条 顧問は本会の会務の諮問に答えるものとする。

第十八条 役員は任期は二年とし、再任を妨げない。但し会長にあっては三期までとする。

## 第五章 会議

第十九条 会議は総会、本部役員会とする。

第二十条 総会は年に一回開催し、左記の事項を行い、且つ会員の親睦を計る。

一、年次報告

二、年次報告は会誌及びホームページをもって行う。

三、その他必要と認める事項

第二十一条 役員会は、役員は三分の二以上の出席によって成立し、左記の事項を審議する。議事は出席者の過半数をもって決定する。

一、規約の改正

二、入会費の決定

三、年会費の決定

四、予算の決議、決算の承認

五、その他必要と認める事項

## 第六章 会費

第二十二条 本会の入会費一万円は入学時に納入する。一旦納入した入会費は返戻しない。

第二十三条 年会費は二千円とする。

第二十四条 本会の運営費は入会費と年会費をもって充てる。

第二十五条 本会の会計は、四月一日から始まり翌年三月三十一日に終わる。

本会の収支予算は役員会（会計監査員は除く）で決議し、その決算は年度末から一ヶ月以内に監査員の監査を受け、役員会（会計監査員は除く）の承認を受け、且つ、総会の承認を得なければならない。

## 付 則

本会規約は昭和四十九年四月一月から施行する。

本会規約は平成十九年四月一日から施行する。

本会規約は平成二十年四月一日から施行する。

本会規約は平成二十一年四月一日から施行する。

本会規約は平成二十二年四月一日から施行する。

本会規約は平成二十五年五月二十二日から施行する。

（花桜会短大部会より尚綱大学短期大学部同窓会に名称変更）

本会規約は令和元年七月一日から施行する。

本会規約は令和六年七月一日から施行する。

**令和7年度 尚絅大学短期大学部 同窓会 役員名簿**

役 職	家 政 科		食 物 栄 養 科		幼 児 教 育 科	
	氏 名	卒年(回)	氏 名	卒年(回)	氏 名	卒年(回)
会 長	沼 垣 邦 子	44(16)				
副 会 長	森 千 鶴 子	39(11)	森 浩 子	53(10)	錦 戸 益 美	49(5)
科 長	林 生 美	43(15)	金 澤 恵 子	53(10)	小 西 眞 理 子	49(5)
会 計	坂 田 優 子	48(20)	○志 内 久 美	44(1)	金 澤 香 代 子	49(5)
書 記			○高 野 いく 子	44(1)	穴 井 雅 子	49(5)
事 務	○蓮 尾 美 保	39(11)	中 川 せい 子	59(16)	野 村 澄 子	51(7)
	齊 藤 徳 子	50(22)				
編 集	中 原 福 子	44(16)	荒 牧 裕 子	45(2)	○矢 島 美 穂	49(5)
	橋 薫	45(17)				
H P					土 屋 薫	52(8)
					原 田 明 美	61(17)

○印は長

科 委 員	家 政 科	下 田 照 美	41(13)	伊 藤 ミ エ	42(14)	井 誠 子	40(12)
	食 物 栄 養 科	井 上 さ と み	55(12)	土 山 陸 子	55(12)	吉 津 美 弥 子	55(12)
		友 枝 博 子	56(13)	原 田 貴 美 子	51(8)		
	幼 児 教 育 科	吉 村 恵 利 子	49(5)	青 柳 葉 子	49(5)	坂 本 柳 子	49(5)

名 誉 会 長	多 久 慶 子	家29(1)	名 誉 会 長	下 川 富 士 子	家32(4)
顧 問	寺 崎 邦 子	食44(1)	監 査	森 下 ひ ろ 子	幼49(5)

**～令和7年度卒業生の役員さんが決まりました～  
クラス役員名簿**

学 科	1 組	2 組	3 組
総合生活学科	野 田 さ く ら		
食物栄養学科	西 未 智 瑠	浦 田 帆 乃 果	
幼児教育学科	芝 原 こ と み	西 村 美 咲	竹 原 杷 那

# ～ 寄付支援ありがとうございます ～

令和5年から令和7年3月31日までの寄付金並びに著書寄付者名

寄付金	木村 昌 様	家政科11回卒（昭和39年卒業）	寄付金	高橋 壽子 様	家政科2回卒（昭和30年卒業）
寄付金	高橋 久子 様	家政科12回卒（昭和40年卒業）	寄付金	古澤 史子 様	家政科22回卒（昭和50年卒業）
寄付金	高田 晶子 様	家政科5回卒（昭和33年卒業）	寄付金	園田真由美様	食物科10回卒（昭和53年卒業）
寄付金	重石美代子様	家政科3回卒（昭和31年卒業）	寄付金	川口 憲江 様	食物科2回卒（昭和45年卒業）
寄付金	小林 頼子 様	家政科5回卒（昭和33年卒業）	寄付金	寺崎 邦子 様	食物科1回卒（昭和44年卒業）
寄付金	松田 帝子 様	家政科3回卒（昭和31年卒業）	寄付金	山口 如子 様	食物科15回卒（昭和58年卒業）
寄付金	森山久美子様	家政科6回卒（昭和34年卒業）	寄付金	畑野由美子様	幼児教育科4回卒(昭和48年卒業)
寄付金	下川富士子様	家政科4回卒（昭和32年卒業）	寄付金	足立 智実 様	幼児教育科4回卒(昭和48年卒業)
寄付金	永田トヨ様	家政科3回卒（昭和31年卒業） 令和4年死亡（家族から）	寄付金	井上由美子様	幼児教育科6回卒(昭和50年卒業)
寄贈 (著書)	下川富士子様	家政科4回卒（昭和32年卒業） 著者 / 下川富士子「刺し子作品集」	寄付金	稲本 恵子 様	幼児教育科6回卒(昭和50年卒業)

## 編集後記

同窓会会員の皆さま如何お過ごしでしょうか。  
気候的には過去最も暑い夏で8月には水害も発生し遭われた方々にはお見舞い申し上げます。

令和7年度総会は久しぶりに郊外で行い盛況に終わりました。ホームカミングデイは初めて九品寺、武蔵ヶ丘キャンパスで別々の時期に開催となりましたが、どちらとも楽しいひと時を過ごす事ができました。

10月には初の女性総理大臣が誕生し、ますます女性の活躍の場が広がります。

学校側は少子化等もあり総合生活学科の募集停止するという変化が起きます。しかし卒業生としては在学中に学んだ事は、どの学科を卒業しても社会に出た時に「役に立っている」と実感していると思います。

今後共、学校・卒業生の皆さまのお役に立てるように同窓会活動を行って参りますのでご協力の程よろしくお願い致します。

今号もお読み頂きありがとうございました。

編集委員一同

## 会誌 第三十六号

発行所 尚綱大学短期大学部同窓会

〒八六二一〇九七六

熊本市中央区九品寺二丁目六一七八

尚綱学園管理棟二階

電話（〇九〇）五八一三一六六八八

e-mail shotandos876@gmail.com

発行年月日 令和八年三月一日

発行責任者 沼垣邦子

編集委員 矢島美穂・中原福子・橘 薫

荒牧裕子・土屋 薫・原田明美

印刷 株式会社トライ

電話（〇九六）二七三一二五八〇